



PRESS RELEASE (2014/07/25)

教材開発センターが独自に制作した教材で JMOOC に講義を開講

概要

九州大学附属図書館付設教材開発センターが独自に制作するビデオ教材で JMOOC (Japan Massive Open Online Course) [1]のコンテンツとして新しい講義を提供します。講義のテーマは“Global Social Archaeology”で、比較社会文化研究院の溝口孝司教授(世界考古学会議会長)が中心になって準備しているものです。

芸術工学部を持つ唯一の国立総合大学としての利点を活かし、教材開発センターが自前のスタジオを使って独自に制作している英語教材で、JMOOC の新しい公認配信プラットフォームである OpenLearningJapan (仮称) の第 1 号として提供されます。

背景

新しい教育活動の一環として、MOOC (Massive Open Online Course)[2]というインターネット上の大規模公開オンライン講座の取組が世界中で急速に普及し始めています。世界の MOOC の動きに対応して、日本においても平成 25 年 10 月に日本オープンオンライン教育推進協議会が設立され、活動が始まっています。MOOC は世界の教育を根本から変える可能性があるもので、大学としてもしっかりと対応していく必要があります。他大学等が提供する MOOC 教材を単に利用するだけでなく、自らも有益な教材を発信し、また自らの教育を改善していくことが求められています。そのためには、これまでビデオ教材の制作経験がない教員でも必要に応じてビデオ教材などを制作でき、利用・発信できるようになることが重要です。九州大学ではそのような視点で教材開発センターが中心になって、MOOC に対応できる教材制作を可能にするための環境整備を行い、今回、新しく制作したビデオ教材で JMOOC の講義として開講するものです。

内容

今回、提供する JMOOC の講義は以下のとおりです。

- ・テーマ：Global Social Archaeology
- ・言語：英語(英語・日本語字幕付き)
- ・担当：溝口孝司(九州大学大学院比較社会文化研究院 教授、世界考古学会議会長)
Claire Smith (Professor of Archaeology at Flinders University、九州大学訪問研究員、世界考古学会議前会長)
- ・概要：
グローバル化の進展に伴って混迷を深める今日の世界の中で、考古学に何ができるか、何をなすべきか、ということを中心に、包括的で新しい視点に基づいて過去と現在を往復することで新しい考古学のあり方を明らかにします。
- ・構成：3つのパートからなり、それぞれが 10~15 分のビデオ教材 5~6 本からできています。
- ・特徴：
 - 考古学の最新の潮流を日本考古学の成果も用いて世界に発信します。
 - 教養レベルでなく、本格的な大学生、大学院生、専門家を対象とした講義です。
 - 大学のグローバル化の方針に沿って、英語による講義ですが、日本語と英語の字幕付きなので、語学の教材としても使用できます。
 - 芸術工学部を有する唯一の国立総合大学として、自信を持って提供するビデオ教材です。
 - 外注でなく、自主制作している講義です。
 - JMOOC の新しい公認配信プラットフォームである OpenLearningJapan (仮称) で最初の講座として公開されます。

【募集開始：平成 26 年 7 月 25 日(金)】

【開講予定：平成 26 年 9 月 25 日(木)】

■効果

- 考古学を学びたい世界中の人たちに考古学の最新の潮流に関する大学レベルの授業を提供できます。
- 反転授業[3]など、新しい教育方法を実践できます。
- 教材そのものを英語の教材としても利用できます。これによって教員がブレンド型授業[4]を行なうことで、学生の自律的な学習を促進できます。
- 教員が高品質の教材を制作する動機付けになります。
- ビデオ教材を制作する技術を蓄積でき、教材開発センターが中心になって、自力でビデオ教材を制作できます。
- 世界に授業を公開していくことで、大学として社会貢献できます。

■今後の展開

対外的には、JMOOC として教材を提供した後、Coursera[5]や edX[6]にも教材を提供していく予定です。また学内においては、教員が自分の授業で反転授業などの新しい取組を行なう上で必要なビデオ教材を手軽に制作できる体制を構築し、大学全体の教育の質を上げ、より効果的な新しい教育形態の普及・推進に努めます。

■用語解説

[1] JMOOC：一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会

JMOOC が公認する配信プラットフォームが 3 つ存在し、各プラットフォームを通じて日本における大学レベルの講義を無料公開しています。(URL：<http://www.jmooc.jp/>)

[2] MOOC：インターネット上で誰でも無料で自由に受講できる「大規模公開オンライン講義」のことで、講義に沿って行なわれる課題などで一定の条件を満たせば修了書を入手できるものもあります。

[3] 反転授業：これまでは授業で学んでいた内容を、オンライン教材などを利用して自宅等で事前に学習し、授業中はそれを前提に応用や課題を行なう学習形態です。

[4] ブレンド型授業：授業の中でオンライン教材を利用する学習形態です。

[5] Coursera：スタンフォード大学の教員 2 名が立ち上げた MOOC の代表的なプラットフォームです。

[6] edX：マサチューセッツ工科大学とハーバード大学が中心になって立ち上げた MOOC の代表的なプラットフォームです。

【お問い合わせ】

附属図書館付設教材開発センター長 藤村 直美
電話：092-553-4434

附属図書館付設教材開発センター事務
電話：092-642-3983
FAX：092-642-2330
Mail：office@icer.kyushu-u.ac.jp